

## 特定非営利活動法人千夜一夜座 設立趣旨書

日本には、古典から現代に至るまで日本の文化や人の心の機微を表現した言葉や文学、芸能作品があり、多くの先人たちにより生み出され受け継がれています。そしてその中には、人が人を理解し、相手や周りを思いやる心を中心に、家族、近隣、地域、社会など、そこに暮らす人々がより心地よい生活を送るための様々な経験や知恵が表現されており、日本人としての豊かな感性を育んできました。

一方近年は、既存の商業放送としてのテレビに加えてインターネットで繋がるスマートフォンなど、より簡便で効率的な情報取得や匿名のコミュニケーション環境、いつでもどこでもできるゲームなどが広く世代を超えて普及してきています。そしてこの新しい情報通信手段により子どもも自分で次々と刺激的な世界中の情報や娯楽が入手できるようになるだけでなく、各個人が自由にいつでもインターネットを介して情報を不特定に発信できるようになってきました。このため、従来のように直接人と人が向き合い対話する機会やお互いを理解する機会が減ってきており、本来日本人としての特徴である周りに対する心配りや相手への思いやりが無くなり、インターネットでの暴力的な発言や炎上という問題などが増えてきています。

これからさらに社会のグローバル化が進み、インターネットなどで繋がる世界が生活の前提となることは避けられない中で、これまで日本人が日本の文化の中で積み上げてきた人を思いやる心を持って、異なる文化や生活習慣の人々も広く受け止め安心且つ安全な社会を維持するために、私たちは何かアクションを起こさなければなりません。

私たちは、これまで任意団体として、様々な文学作品の読み聞かせや朗読会、演劇活動を通して人と人のつながりや家族、文化継承の活動を行ってきました。その中で多くの方に「参加してよかった」「感動した」という声をいただけてまいりました。

しかしながら、任意団体であるために、活動について社会的な信用が得られず、ボランティアの募集や都内の小学校・中学校や地域での公演活動の宣伝や開催にハードルが存在します。また、任意団体のままでは事業用品の購入や関連業務の委託など契約時に不便があり、自治体から事業を受託することも困難です。

そこで、こうした障壁を取り払って、団体運営の効率性向上とさらなる事業の拡大を目指し、私たちの活動に賛同してくれる誰もが参加できる団体である、特定非営利活動法人となることを決意いたしました。

特定非営利活動法人になった暁には、定期的な総会の実施や、法令等で定められた書類の作成・提出、一般市民への情報公開などを適切に行うことで、社会的信用を得、健全な法人運営が実現できると考えます。私たちは、劇や朗読や音楽の公演、言葉やダンスなどの体験教室や指導を通して、子供の成長や地域の文化交流、年齢や障害を越えた豊かな人づくりに貢献することを目指します。

### 申請に至るまでの経緯

- 平成25年5月 劇団「千夜一夜座」発足
- 平成25年5月 第1回公演「語りと朗読の世界 ～黒柳千寿江～」開催
- 平成25年9月 第2回公演「語りの世界 きらめき」開催
- 平成26年6月 第3回公演「星の王子様」開催
- 平成27年6月 第4回公演「闇に浮かぶ花明り -語りの世界-」開催
- 平成28年1月 第5回公演「絵のない絵本・クリスマスキャロル」開催
- 平成28年6月 第6回公演「闇に浮かぶ花明りPart2 -語りの世界-」開催
- 平成29年6月 第7回公演「まゆみのマーチ」開催
- 平成29年6月 特定非営利活動法人千夜一夜座の設立を有志で確認
- 平成29年8月 特定非営利活動法人千夜一夜座の設立総会開催

平成29年 8月 27日

設立代表者 住所又は居所  
東京都狛江市岩戸南2丁目8番17号

氏名 富崎 止 印

